

## <教育と研究の動向>

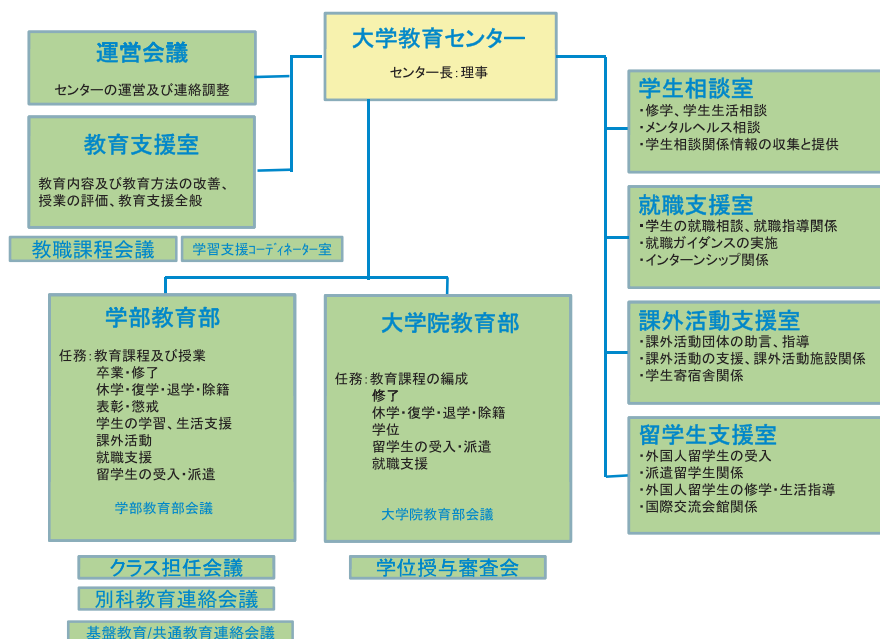
### ◇大学教育センター

学部・別科の教育及び大学院教育の企画運営、学生への修学支援、生活支援などを一括して行うための組織として大学教育センターが設置されている。

大学教育センターは、学部と別科の教育及び学生支援を行う「学部教育部」、大学院の教育及び学生支

援を行う「大学院教育部」、学生に対する支援の内容や目的に応じた「教育支援室」「学生相談室」「就職支援室」「課外活動支援室」「留学生支援室」で構成され、教育研究担当理事がセンター長を務める。

大学教育センター運営組織図(平成23年6月現在)



学生相談室



就職支援室



国際交流会館Ⅰ



国際交流会館Ⅱ ラウンジ

## ◇現代 GP

教育関係の各種プログラムの支援を受け、教育の充実を進めた。平成17年度には、「国際貢献を担う人材育成のための連携教育」が「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP, Good Practice)」に採択され、食品安全科学を共通テーマに、専門教育と国内外の実践教育に裏付けされた国際専門職業人育成を行う「畜産国際協力ユニット」を平成18年に設置した。

平成18年度には、「食の安全に関わる高度専門家育成プログラム」が「『魅力ある大学院教育』イニシアティブ(大学院 GP)」に採択され、畜産学研究科畜産衛生学専攻の獣医・農畜産の共通化したカリキュラムによる畜産衛生関連分野の基礎知識や技術の習得、調査・研究を基盤にした専門的な問題解決型の国際的活動能力の養成に重点を置いた一貫教育プログラムを完成させた。さらに、このプログラムの実績を基盤に、平成20年度には、「組織的な大学院教育改革支

援プログラム」に採択され、食の安全確保のための国際標準に適切かつ迅速に対応できる人材育成教育を実施した。

また、平成18年度には、「『全学農畜産実習』を通じた総合的導入教育」が「特色ある大学教育支援プログラム(特色 GP)」に採択され、畜産学部の新入生全員が参加する「全学農畜産実習」の質の向上を図るとともに、平成19年度には食料生産から加工・流通までを体系的に学習できるよう実習内容を改善した。

平成20年度には、「大動物総合臨床獣医学教育プログラム」が「質の高い大学教育推進プログラム(教育 GP)」に採択され、畜産学部獣医学課程で従来行ってきた大動物臨床獣医師育成を基盤として、高度実践的診療技術、論理的な問題解決能力、コミュニケーション能力を有する大動物臨床獣医師を養成すべくプログラムを推進した。

### 教育プログラム一覧

採択年度	プログラム名称	採択された取組・課題名称	事業期間
平成17年	現代的教育ニーズ取組支援プログラム	国際貢献を担う人材育成のための連携教育	2年
平成18年	特色ある大学教育支援プログラム	「全学農畜産実習」を通じた総合的導入教育	3年
	「魅力ある大学院教育」イニシアティブ	食の安全に関わる高度専門家育成プログラム	2年
平成20年	質の高い大学教育推進プログラム	大動物総合臨床獣医学教育プログラム	3年
	組織的な大学院教育改革支援プログラム	食の安全性確保の国際標準化による実践教育	3年
	戦略的大学連携支援事業	食の安全・安心の基盤としての地域拠点型教育研究システムのネットワーク形成	3年
平成22年	大学教育・学生支援推進事業 大学教育推進プログラム	ピアサポートで支える補習教育と初年次教育	3年



全学農畜産実習



総合臨床プログラム